

平成 28 年 3 月  
下野市

# ともに築き 未来へつなく 幸せ実感都市

～人・自然・文化が織りなす 知恵と協働でつくる下野市～

2016 ▶▶▶ 2025  
〔平成 28 年度〕 〔平成 37 年度〕

わたしたちが案内します！

## 第二次下野市総合計画

基本構想 2016～2025

前期基本計画 2016～2020



みなさんが大人になる頃  
幸福感と活力ある  
下野市を目指します！





## 総合計画ってなに？

下野市の全ての計画の最上位となる計画で、まちづくりの基本となる行政計画です。将来のまちのあるべき姿（将来像）を掲げ、長期的な視点で計画的に事業を進めていくための計画です。本市の事務事業は、この総合計画に示された取組の方向に沿って行われることとなります。計画の策定にあたっては、次の5つの視点に基づき多くの市民参画の機会を設けながら進めてきました。



名称：カンピくん  
生産量日本一のかんぴょうの瓢（ふくべ）をモチーフとしたキャラクターです。

### 基本的な考え方

- (1) 魅力ある暮らしやすいまちづくり
- (2) 協働によるまちづくりの推進
- (3) 更なるステップアップ
- (4) 将来を見据えた土地利用の推進
- (5) 実効性の高い計画づくり

総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の3つから構成しています。



市政運営を総合的かつ計画的に行う指針となるもので、まちづくりの基本的理念、将来像及びその実現に向け必要な取組の方向（大綱）を明らかにするものです。

計画期間：10年間（H28～37）

### 基本構想

基本構想に掲げる将来像を実現するための取組の体系を示すとともに、取組の目的や方針、主要事業などを明らかにするものです。

計画期間：前期5年（H28～32）  
後期5年（H33～37）

### 基本計画

財政計画との整合性を図りながら、基本計画で示した取組の目的を達成するために必要な事業を明らかにするものです。

計画期間：2年ごと

### 実施計画

# 未来の下野市って？



目標とする下野市の理想的な姿を「将来像」として総合計画に掲げています。

## 【 将来像 】

### ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市 ～人・自然・文化が織りなす 知恵と協働でつくる下野市～

#### 市民の幸せを高める「幸せ実感都市」

「市民の幸福感の向上」に向けて、「幸福感向上」の要素である健康、産業、コミュニティに関連する定住に係る事業に取り組みます。市民の安心な暮らしを実現することで、下野市に住んでいて、幸福感を感じる市民を増やすことを目指します。

キーワードはこの3つ！



#### 人・自然・文化を活かした交流するまち

「人や企業に選ばれる自治体」に向けて、地域の魅力向上と地場産業の活性化、多彩な人材の育成による交流方策に取り組みます。地域資源を活かした活力の向上を実現することで、人や地域資源が交流するまちを目指します。

#### 市民と市が協働で目的を達成するまち

「幸せ実感都市」の実現に向けて、自治基本条例に基づく協働のまちづくりを推進し、市民と市が同じ目的をもって、市民一人ひとりの知恵を活かした協働で実行するまちを目指します。

# 10年後の下野市はどうなっているの？



10年後の下野市の目指すべき姿と成果指標を次のように定めています。

## 【市民の幸福感の向上】

下野市に住んでいて、幸福感を感じる市民が増えています

## 【人や企業に選ばれる自治体】

人や企業に選ばれ、まちに活力があふれています

### ■ 成果指標

指標名	現状値(H26)	目標値(H37)
幸せだと感じている市民の割合	75%	80%
内、女性が幸せだと感じている割合	80%	85%
下野市を好きだと思う中学生の割合	81%	85%
住みやすいと感じる市民の割合	84%	90%



# 重点的に取り組むこと -しもつけ重点プロジェクト-

## しもつけ重点プロジェクト

- 目標1 大切な命を育み、健康で笑顔あふれるまちづくり
- 目標2 文化を育み、心豊かな人を育て未来につながるまちづくり
- 目標3 豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり
- 目標4 地域資源を活かし、産業・地域が躍進するまちづくり
- 目標5 快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり
- 目標6 市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり

ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市

抽出

人いきいきプロジェクト

街いきいきプロジェクト

暮らしいきいきプロジェクト

「しもつけ重点プロジェクト」は、下野市の将来像の実現に向け、成果が強く望まれる取組・事業を抽出したものです。このプロジェクトは「人いきいき」、「街いきいき」、「暮らしいきいき」の3つから構成されています。



## 人いきいきプロジェクト

### 【プロジェクトの考え方】

- 人・家族が安心して生活できる福祉の充実を目指し、子どもを産み育てやすく、高齢者・障がい者にやさしいまちづくりを推進し、健康寿命の延伸につながるプロジェクトの展開を図ります。
- 教育・学習環境の向上をハード・ソフト両面から図り、いきいきと活かに満ちた多くの市民が集うプロジェクトを展開します。



### 【重点的な取組のイメージ】

歯の相談事業



保育園の運動会



子ども未来プロジェクト



障がい者福祉のPR



“市民の幸せを高める 幸せ実感都市” の実現

## 街いきいきプロジェクト

### 【プロジェクトの考え方】

- 充実した交通基盤・地域医療、東京圏へのアクセスが容易な地理的優位性などを活かし、定住促進に向けたプロジェクトを展開します。
- 既存産業の活性化、魅力ある産業や雇用創出を図るため、人や企業から選ばれる産業環境づくりを促進し、交流人口を増やす取組を通して、街がいきいきと輝くプロジェクトを展開します。



### 【重点的な取組のイメージ】



“人・自然・文化を活かした交流するまち”  
の実現

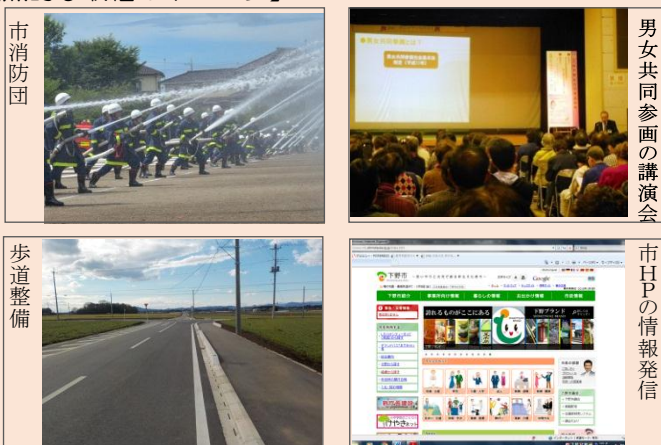
## 暮らしいきいきプロジェクト

### 【プロジェクトの考え方】

- 自治基本条例により地域の絆を強化し、市民力の向上を図ることにより市民がいきいきと暮らせるプロジェクトを展開します。
- 暮らしを支えるための行政サービスの充実に向け、新庁舎における行政機能の更なる効率化を図るなど創意工夫による行財政運営※を引き続き進めます。



### 【重点的な取組のイメージ】



“市民と市が協働で目的を達成するまち”  
の実現

※行財政運営とは計画を進めるための土台となるものです。



# 将来像実現のための6つの目標は？



取組は大きく6つに分けて、それぞれ進めていきます。

## 目標1

### 大切な命を育み、健康で笑顔あふれるまちづくり

- (1) いきいき暮らせる健康づくり
- (2) 子育て家庭を支援する環境づくり
- (3) 高齢者が元気で暮らせる体制づくり
- (4) 障がい者（児）とともに生きる環境づくり
- (5) 誰もが安心して暮らせるまちづくり



元気ご長寿体操



保育園の運動会



特別養護老人ホーム

## 目標2

### 文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり

- (1) 将来を担う人づくり
- (2) 生涯にわたり学べる機会づくり
- (3) 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり
- (4) 文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり



ALT英語活動



キンボール大会



グリムの森フェスティバル

## 目標3

### 豊かな自然と人に優しい環境が共生した安全・安心なまちづくり

- (1) うるおいのある緑環境づくり
- (2) 安全・安心な生活環境づくり
- (3) 快適に暮らせる環境づくり



蔓巻公園



市消防団



デマンドバス

目標  
4

## 地域資源を活かし、産業・地域が躍進するまちづくり

- (1) 地域の特性を活かした農業・農村づくり
- (2) 商工業による躍進するまちづくり
- (3) 魅力あふれる観光まちづくり



下野ブランド



産業祭



グリムのイルミネーション

目標  
5

## 快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり

- (1) 快適に住み続けられる住環境づくり
- (2) 人に優しい交通環境づくり
- (3) 安全で快適な水環境づくり



コンパクトシティ



バリアフリー



水道工事

目標  
6

## 市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり

- (1) 協働のまちづくりの体制づくり
- (2) 健全な行財政運営の仕組みづくり



市民参加の懇談会



市民が集う市役所新庁舎

一つひとつが大切な  
取組です。みんなで  
協力して将来像を  
実現しましょう！



※表紙写真等の解説：中心は「下野市役所新庁舎イメージ図」、右上から時計回りに「下野薬師寺跡の復元回廊」「グリムのイルミネーション」「夏祭りの山車」「天平の芋煮会の大鍋」「下野ブランド」「ゆうがおの実（かんびょうの材料）」「石橋納涼盆踊り」「機織型埴輪」「坊っちゃん列車」「道の駅しもつけ」になります。

# みんなと一緒に考えました

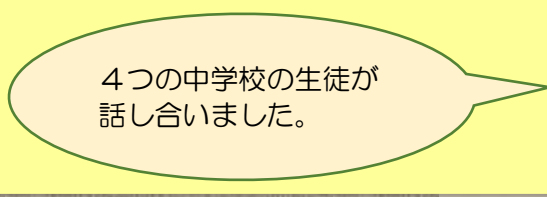
将来の下野市を担う子どもたちのまちづくりに関する思いや夢を提案してもらうため、子ども未来プロジェクトによるワークショップを開催しました。各グループで市の特性と課題を共有した上で、2つのテーマを設定し、テーマごとに将来像、方針、重点的な取組を提案しています。



グループ	テーマ	将来像	重点的な方針
A	交通・道路	誰もが安全に移動しやすい道路	「きれいな道」「安心して通りやすい道」「明るくて安全な道」の実現
	公園・緑地	公園を子どもから高齢者まで幅広く使えるようにする	「自然の中で遊べる公園」の実現
B	産業・観光	特産品を全国にPRしたい	「イベント・PR」の実現
	安心・安全	あかりが人を安心させるまち	「明るく安全なまち」の実現
C	自然・環境	自然が多くきれいなまち	「ゴミが少ないまち」の実現
	産業・観光	観光施設が多いまち	「特産品をPRする」の実現



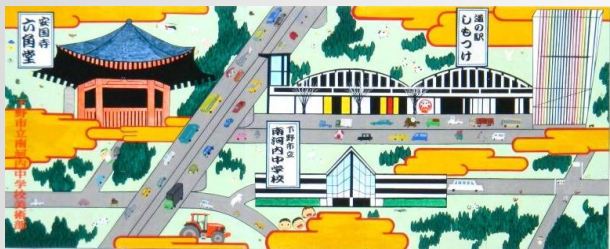
写真はワークショップの様子です。



4つの中学校の生徒が話し合いました。



## 市内中学生が描いた下野市の魅力



「しもつけ未来絵巻」南河内中学校美術部



「笑顔あふれる下野市」南河内第二中学校美術部



「国分寺の歴史」国分寺中学校美術部



「姿川アメニティパーク」石橋中学校美術部

## 問い合わせ

下野市総合政策部総合政策課 〒329-0492 栃木県下野市小金井 1127 番地  
 電話：0285-40-5550 E-mail：sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp